

2007 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">教育福祉特講</p>	<p>対象学科・学年 専攻科教福(専)1 回生</p>	<p>担当者</p> <p>山本啓介 岡崎裕子 農野寛治</p>
<p>授業テーマ</p> <p>「よく生きる」well-being 社会の形成と「教育」の本質</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>すべての人が、この社会で大事にされ、支え合い、『「よく生きる」well-being 社会』を形成していくことは、人類すべてに課せられた共通の究極目標である。well-being (福祉) は、人の「生き方」そのものに課せられた命題であり、教育が求める本質そのものである。本講義では前半を、学校教育に位置する「福祉の教育」について研究をすすめる。後半では、教育と福祉の両領域における現代的ニーズをとりあげ、実態把握、社会的背景の分析を試みる。さらに、具体的対応に関する教育的アプローチと社会福祉のリソース利用を学習する。</p> <p>教育学教員と社会福祉学教員が担当する本講義の特色をいかに、両領域からの最新情報や、教育と福祉の連携のあり方について検討をすすめると同時に、福祉社会を構築しそれを支えて生きる「人のありよう」について、「人間と福祉」からの考察をすすめる。</p>		
<p>評価方法</p> <p>日常の学習姿勢・態度、教育小論文・課題報告書、模擬授業の学習実績、定期試験、などをもとに総合的に評価する。</p>		
<p>テキスト</p> <p>幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領</p>	<p>著者</p> <p>文部科学省</p>	<p>出版社</p> <p>独立行政法人印刷局</p>
<p>参考書</p> <p>適時、紹介する。また、資料は必要時に配布する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>I. 「教育の本質」と福祉教育</p> <p>(1)学校における福祉教育の意義</p> <p>(2)福祉教育がめざす目標</p> <p>(3)小学校における福祉教育の意義</p> <p>(4)中学校における福祉教育の意義</p> <p>(5)高等学校福祉科の教育</p> <p>II. 学習指導要領と「福祉」の学習指導</p> <p>(6)全体活動としての「福祉」の学習と指導</p> <p>(7)各教科にある「福祉」の学習と指導</p> <p>(8)道徳にある「福祉」の学習と指導</p> <p>(9)特別活動にある「福祉」の学習と指導</p> <p>(10)総合的な学習の時間にある「福祉」の学習と指導</p> <p>III. 「福祉教育」の推進と方法</p> <p>(11)学校教育課程・福祉教育の管理と運営</p> <p>(12)保護者との連携活動</p> <p>(13)地域社会との連携活動</p> <p>(14)福祉施設との連携活動</p> <p>(15)研修と資質能力の向上</p> <p>IV 子どもの問題を抱える家族へのソーシャルワーク</p> <p>(1) ソーシャルワーク概説</p> <p>(2) エコロジカル・アプローチ</p> <p>(3) 模擬事例の検討</p> <p>(4) 相談支援</p> <p>(5) 所属機関での体制をとる</p> <p>(6) 連携機関</p> <p>(7) まとめとして 対人援助における倫理観</p> <p>V 障害児教育・特別支援教育の現状と課題</p> <p>(1) (2) 現状の分析</p> <p>(3) (4) (5) 指導法をめぐって</p> <p>(6) (7) 課題と対応</p> <p>VI 総括</p>		